

平成30年10月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【特別入試】・平成31年4月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【8月募集】入試問題

講座	日本・アジア言語文化論
専門科目1	日本文学

問題一 次の【Ⅰ】【Ⅱ】【Ⅲ】の文章を読んで、後の問に答えなさい。解答はすべて日本語で記しなさい。

【Ⅰ】 本文省略。出典は『源氏物語』紅葉賀巻。

【Ⅱ】 本文省略。出典は『源氏物語』須磨巻。

【Ⅲ】 本文省略。出典は『源氏物語』明石巻。

問一 【Ⅰ】の文章の全文を、動作主をわかりやすく示しながら現代語訳しなさい。

問二 【Ⅱ】の文章の中の（ア）の和歌を、掛詞に注意しながら現代語訳しなさい。

問三 【Ⅱ】の文章の中の（イ）の和歌に見える「犯せる罪」が意味するものについて、説明しなさい。

問四 【Ⅲ】の文章の後半、「飽かず悲しくて、御供に参りなんと泣き入りたまひて」から「さらに御目も合はで暁方になりにけり」までの全文を、心中思惟の部分に注意しながら現代語訳しなさい。

平成30年10月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【特別入試】・
平成31年4月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【8月募集】入試問題

講座	日本・アジア言語文化論
専門科目1	日本文学

問五 【Ⅲ】の文章の中の傍線部「我は位に在りし時、過つことなかりしかど、おのづから犯しありければ」は、どのようなことを述べていると考えられるか、【Ⅰ】【Ⅱ】の文章との関わりに留意しながら説明しなさい。

問題二 左にあげる(1)～(3)のそれぞれについて、知るところを述べなさい。

(1) 『河海抄』

(2) 上田秋成

(3) 谷崎潤一郎

以上